

実用新案登録願 12

昭和 年 月 日

特許庁長官 殿

51 3 31

考案の名称

磁気録音機

考案者

茨城県勝田市大字稲田1410番地
株式会社 日立製作所東海工場内
田 村 昭

実用新案登録出願人

住所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
名称 (510) 株式会社 日立製作所
代表者 吉 山 博 吉

代理人

住所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
株式会社 日立製作所内
電話東京 270-2111 (大代表)
氏名 (7237) 弁理士 薄 田 利 幸

特許
51.3.31

出願人
長島

薄田利幸
式登

當出

51 037748

52-130729

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1 考案の名称 磁気録音機

2 実用新案登録請求の範囲

テープカートリッジの側面の一部に貼付けた導電性金属により成るラベルを検出して誤消去防止用回路を作動させることを特徴とする磁気録音機。

3 考案の詳細な説明

本考案はカセット式磁気テープ用カートリッジに好適な磁気録音機に関するものである。

カセット式磁気テープ用カートリッジには現在、誤消去防止用のツメが設けられている。これは普通のカセットテープレコーダに於ては、正常に作動するが、LL学習用カセットテープレコーダに於ては、練習録音用のトラック（オ2又はオ3トラック）の消去及び録音が誤消去防止用ツメの有無にかかわらず可能である為、オ2又はオ3トラックに種々のコントロール用信号や音声が録音されているソフトウェアLL学習用ソフトウェアと並用する場合、誤つてオ2又

はオラトラックの信号や音声を消してしまい危険性がある。又市販のステレオ録音されたミュージックテープについても同様誤消去の危険性がある。

そこで本考案の目的は上記したソフトウェアの誤消去を防止する為に誤消去防止用ツメとは別にもう一つの新しい誤消去防止のシステムを有するカセット式磁気テープ用カートリッジ及びそれに適した録音機を提供するにある。

カセット式磁気テープ用カートリッジに於ては標準化の為種々の規定がありこれをくずすことは出来ない。又誤消去防止の為にはハード側（テープレコーダ側）のみの対策では不可能であり、ソフトウェア側（カートリッジ側）とハード側の両方によつて初めて可能となるものである。

本考案に於てはソフトウェア側に於いては消去禁止テープであることを検出するためのセンサーとして導電性金属により成るラベルをカートリッジの側面の一部に貼付けておく。ハード

側ではこのセンサーの有無を検出する接点及びスイッチ回路を設けこれによつてテープレコーダの消去及び録音回路をON/OFFするものである。

以下本考案を図面を用いて説明する。

才1図はカセット式磁気テープ用カートリッジ1の後側面を表した図である。誤消去防止用ツメ2は従来使用されているものであり、導電性金属ラベル3が新たに追加されたものである。才2図は上記の様なカセットが使用され、磁気録音機に装着された時の誤消去防止機構の動作をブロックダイアグラムの的に表したものである。以下に動作の詳細を説明する。カセット式磁気テープ用カートリッジ1が磁気録音機のカセットコンパートメントに装着されると、該コンパートメントの内部に取付けられている検出用スイッチ素子4の接点部に導電性金属ラベル3が接触して、検出回路のトランジスタ Q_1 のベース極とエミッタ極の間を短絡することとなる。これによつてトランジスタ Q_1 はOFFとなり

トランジスタ Q_6 が ON となり、リレー 6 が通電し附勢される。該リレー 6 の有する ON/OFF 接点スイッチによつて、1 つはマイクロホン 7 より録音アンプ 8 へ入る録音信号を OFF とする。もう一方で録音バイアス及び消去用発振回路 9 を OFF とする。これらによつてもし誤つて磁気録音機を録音の状態に操作した場合でも、大切なテープの録音内容は何んら損傷を受けない。又導電性金属ラベル 2 を貼付けてない普通のカセットテープを使用し、磁気録音機に装着した時は、検出用スイッチ素子 4 は開放状態が保たれるので、トランジスタ Q_1 のベース極とエミッタ極間は開放状態で、抵抗 R_1 を通してベース電流がトランジスタ Q_1 に流入し、トランジスタ Q_1 を ON とする。これによつてトランジスタ Q_6 は OFF となり、リレー 6 は遮断状態を保つ。従つて磁気録音機を録音の状態に操作すると、マイクロホン 7 から入つた信号は録音アンプ 8 を通して録音ヘッド 10 に録音信号として流れ、録音バイアス及び消去用発振回路 9 も正常に動作する。

ので、通常の録音が可能となる。

従来のLL学習用カセットテープレコーダに於ては、誤消去防止用ツメの有無にかかわらず練習トラック（オ2又はオ3トラック）の消去及び録音が可能であると言ひ機能を持つてゐる為LL学習用以外の教材テープや市販ミュージックテープが誤消去される危険性を持つていた。本考案による導電性金属ラベルを貼付けたカセットテープと本考案による磁気録音機を組合せて使用する限りに於てはこの様な心配はなくなり、誤消去防止機能が強化される。又導電性金属ラベルは簡単に貼付する事が出来るので市販されているカセットを使用して容易かつ安価に作成可能である。

4 図面の簡単な説明

オ1図は本考案によるテープカートリッジ部の後側面図、

- 2
： 誤消去防止用ツメ
- 3
： 導電性金属ラベル

オ2図は磁気録音機側に於ける誤消去防止機構

①一実施例を示すブロックダイアグラムである。

- 1 : テープカートリッジ
- 3 : 導電性金属ラベル
- 4 : 検出用スイッチ素子
- 5 : 直流電源装置
- 6 : リレー

代理人弁護士 薄 田 利

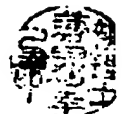


图 1

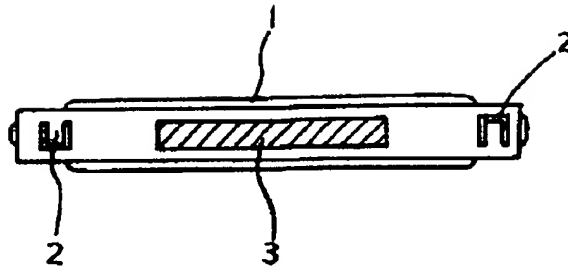
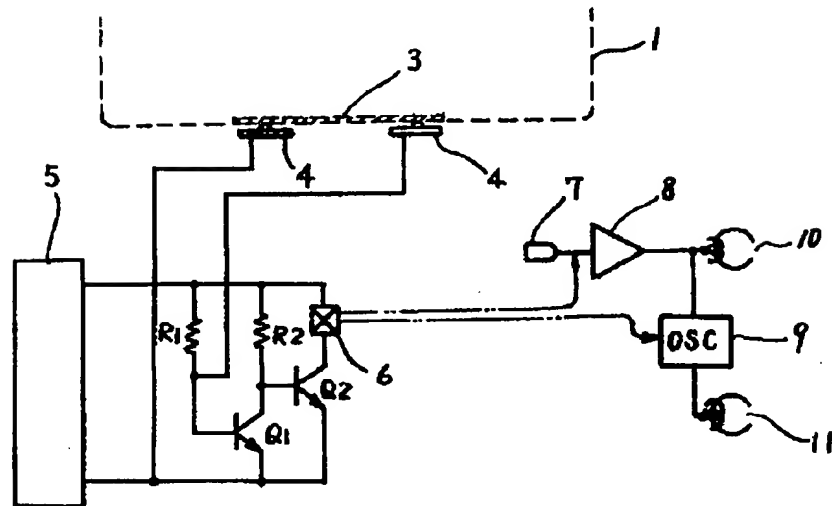


图 2



代理人 岸理士 薄田 利幸

130729

添附書類の目録

- | | |
|---------------|----|
| (1) 明 細 表 | 1通 |
| (2) 図 面 | 1通 |
| (3) 委 任 状 | 1通 |
| (4) 実用新案登録願原本 | 1通 |

~~前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人~~

4 行前取

~~考 案 者~~

~~フリガナ~~

~~フリガナ~~

52-130729

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.